

Tezukayama

University Letter 2018.07.25

大学通信帝塚山

vol.
43

特集 1：2018 年 4 月、帝塚山大学に経済経営学部経済経営学科が開設！

特集 2：2019 年 4 月設置 教育学部こども教育学科の特色ある取り組み



経済経営学部1年生を対象とした「経営学概論(リーダーシップ理論)」の授業風景

Contents

卒業生紹介	5	地域連携 最新の取り組み	12
キャンパスレポート	6	クローズアップニュース	13
IR レポート	8	後援会(在校生保護者)の皆様へ	15
就職支援の取り組み	9	帝塚山 NEWS & TOPICS	16
クラブ・サークル活動	10	お知らせ・イベントニュース	18

2018年4月、帝塚山大学に

経済経営学部経済経営学科が開設！

多様化し、ボーダレス化する社会を見通す経済センス。企業や組織が成長するための戦略を考える経営センス。現代社会で活躍するには、双方の垣根を越えた幅広い専門的知識が必要です。世界経済の動きを理解した経営の学び、社会と企業の動きを理解した経済の学び。この視点を身につけるために2018年4月、経済経営学部経済経営学科が開設されました。これからの社会で、真に必要とされる人材がここから生まれます。

1 経済学と経営学を同時に学ぶ

経済経営学部では1年生から、経済学の基礎を学ぶ「経済学概論」と、経営学の基礎を学ぶ「経営学概論」を学修します。両科目共にオムニバス形式で、専門分野の異なる複数の教員が多様な視点で講義をしますので、学生は経済学・経営学の魅力と有効性に早い段階で触れることができます。

「経済学概論」



「経済学概論」では、ミクロ経済・マクロ経済・経済事情の3つの分野について、理論と応用の両方の側面から3名の専門教員がリレー形式で講義を展開しています。

この授業では、需要曲線や供給曲線、価格の決め方などのミクロ経済学の基礎、GDP(国内総生産)や物価などマクロ経済学の基礎を学びながら、現実の複雑な経済事情についても「アジアと日本の経済成長」や「高齢社会の財政運営」といったテーマで分かりやすく解説しています。

「経営学概論」



「経営学概論」では、企業(会社)の経営に関する基礎的な知識を学びます。経済社会システムに重要な役割を果たす企業がどのように経営・管理されているかを研究するため、「企業内部」と「企業外部」の2つの視点から適切な企業経営のあり方を考えます。

企業内部の視点では企業の組織や財務の専門教員、企業外部の視点では企業の戦略や経営史を専門とする教員が、DVDや新聞記事等さまざまなメディアを用いながら基礎的かつ実践的な講義を繰り広げています。

「経済」と「経営」の両方の視点を身につけた人材を育成

2 少人数制によるきめ細かい指導を実施

経済経営学部では、大教室の授業以外にも、全員が参加する基礎演習を通して学生一人ひとりの学びを支援しています。基礎演習では、担当する教員が学生全員と個人面談を行い、勉学に加え友人に囲まれた楽しく有意義なキャンパスライフが送れるよう配慮しています。

また新聞の読み方、図書館の使い方、パワーポイントを使ったプレゼンテーションの練習、ベルリッツの「English Lounge」での英会話など、将来の就職活動に役に立つスキルの習得もめざしています。さらに帝塚山大学に対する愛校心と誇りを持ってもらうため、「自校教育」の講義も行っています。

一人ひとりの学びを支援

+

スキルの習得

+

自校教育

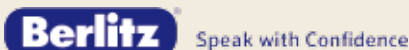


図書館ワーク



帝塚山大学の歩いてきた道(自校教育)

自ら学び、発信する力を身につけた人材を育成



ひとつ上の英会話能力を身につける英語講座“English Lounge (イングリッシュラウンジ)”を開講！

英語教育に140年以上の歴史を持つベルリッツから派遣された講師の指導のもと、「英語のみを使った指導法」で世界水準の学びを提供します。「国際観光ビジネスプログラム」を志す学生を始め、旅行会社やホテル、航空会社などの国際ビジネス業界をめざす学生に、英会話を楽しみながら基礎から学べる講座を開講しています。



経済経営学部新入生に聞きました

■帝塚山大学の経済経営学部を志望した理由を教えてください(3つまで回答可)

① 経済と経営の両方が学べるから	232	89.9%
② 学びのプログラムがあったから	156	60.5%
①金融・不動産スペシャリスト	75	48.1%
②公務員	38	24.4%
③国際観光	35	22.4%
④流通業界	24	15.4%
⑤企業実務	46	29.5%
③ コミュニケーション英語が学べるから	71	27.5%
④ 実学講座があるから	53	20.5%
①ANA 講座	14	26.4%
②近鉄グループ提供講座	16	30.2%
③野村證券提供講座	12	22.6%
④地元優良企業提供講座	9	17.0%
⑤ 高校の先生に勧められたから	88	34.1%
①担任の先生	73	83.0%
②進路指導の先生	10	11.4%
⑥ 保護者に勧められたから	55	21.3%
⑦ その他	46	17.8%

258名回答

一番多い理由は「経済と経営の両方が学べるから」

経済経営学部を受験した志望理由としては、「ビジネス社会において不可欠となる“経済”と“経営”を4年間で体系的に学ぶことができるから」といった意見が一番多くなっています。また、さまざまな業界や仕事に特化したプログラムを備えた履修モデル「学びのプログラム」があることや、業界人、専門家などの講師により業界の実情を学び、将来の進路イメージをより明確にできる「実学講座」が開講されていること、また、ビジネス英会話を基礎から学べる「English Lounge」が開講されていることなどの理由が上位となっています。

入学して3ヶ月が経ち、新入生からこのような感想が寄せられています。

- 高校時代と違い、自分で考え行動しなければならないので、それが新鮮で楽しいです。
- 先生方が楽しく分かり易い授業を行ってくださるので、充実した大学生活を送れています。
- 苦手な英語が楽しく学べ、豊富な資格講座ラインナップを受講できることがよかった。
- 各種資格講座など、就職に向けてのサポートがしっかりしていてうれしい。

新入生のお二人に近況をインタビューしました



経済経営学部1年 川崎 貴裕さん(右側)

大学の授業は90分と長いので、予習、復習も大変でしたが、やっと大学生活に慣れてきました。志望校を検討していた時から幅広い分野の資格取得を可能にしてくれる制度が整っていることが、帝塚山大学の魅力の一つでした。今年の夏休みには学内の特別資格サポート制度(B制度)^{*}を利用し、MOSのWordとExcelに取り組みます。2年生になったら、ファイナンシャル・プランニング技能検定講座3級や日商簿記検定講座3級にもチャレンジしたいと思います。

経済経営学部1年 荒毛 七海さん(左側)

私は授業の合間に「English Lounge」に参加しています。在学中に大学独自の海外留学制度を利用して給付留学することが夢なので、その準備のために受講しています。毎回、「FOOD」「CLOTHING」など日常の話題を中心にテーマが決められており、留学生や海外から来日している旅行者とのコミュニケーションにも役立てられ、とても楽しく取り組んでいます。資格については先日、日商簿記検定3級に合格しました。今年の秋には2級の取得をめざします。

^{*}「金融・経済関連」「パソコンスキル・IT」など多岐にわたる資格講座が用意され、年間5,000円で最大5講座受講できる帝塚山大学独自の資格取得支援制度

女子学生のための「経済経営学部女子会」を開催しました



経済学部では、毎年、女子学生の交流を深めることを目的として「女子会」を開催しています。今年は「経済経営学部女子会」として、経済学部の先輩が新学部の新入生を歓迎する懇親会となりました。先輩から勉学や課外活動、就職のアドバイスを聞いて、新入生は有意義で楽しいひとときを過ごしました。

2019年4月設置

教育学部こども教育学科の特色ある取り組み

教育の新しい課題に対応し、学生の進路を実現します！

帝塚山大学では子どもの資質、能力をのばす教員の養成をめざし、2019年4月に教育学部こども教育学科を設置いたします。これからの教育者に求められる知識・スキル・経験を有した教員を養成するための特色ある取り組みを紹介します。

① 教育現場のグローバル化に対応

これからの教育現場に求められているグローバル化に対応するため、伝統のある帝塚山小学校の英語教育との連携を図ります。学科の授業では小学校英語教育の専門家である教員が、英語を聴き、体の動きを通して学ぶTPR(Total Physical Response)という指導法で教えます。また、学生自身に英語の力をつけてもらうために、「英語力向上講座」を開講し、小学校の英語教科化と教員採用試験に備えます。さらに、コミュニケーション英語を楽しく学ぶEnglish Loungeにも参加できます。

最新の小学校英語教育

昭和27年開設当初よりスタートしている帝塚山小学校独自の英語プログラム



TPRによる英語指導法

体の動きを通して学ぶTPR(全身反応教授法)による英語指導法



英語力向上講座

小学校の英語教科化、教員採用試験に備える

英語基礎力アップコース

+

英検®2級対策コース

English Lounge

英語によるプレゼンテーション力 ディスカッションスキル向上



② プログラミング教育に対応

帝塚山中学校・高等学校との連携による地域小学生を対象としたプログラミング教育を行います。プログラミング教育は小学校学習指導要領に新たに盛り込まれた内容です。この活動を通して学生たちは、これからの教育者としての資質を身につけることができます。

～帝塚山ロボット教室プロジェクト～

帝塚山中学校・高等学校
理科部ロボット班



帝塚山大学
教育学部
こども教育学科

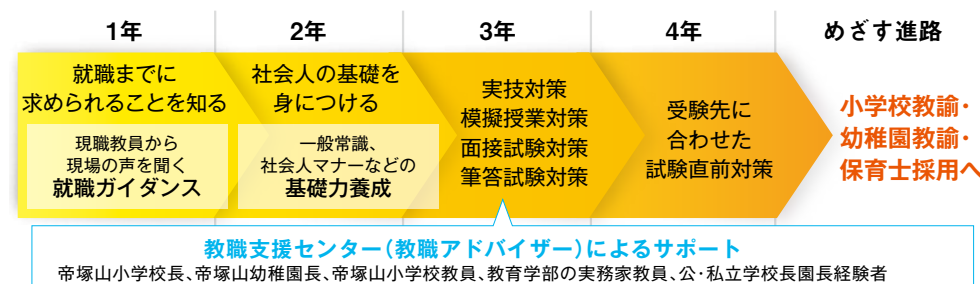
学生の学び

ロボット教室の企画・準備・運営の経験
小学生に「教える」ことを実践
プログラムを組む知識の習得



③ 学園の豊富な人材による採用試験対策

学生がめざす進路の実現にも、総合学園の教育連携が大きな役割を果たします。その中心になっているのが、2017年度から開設した「教職支援センター」です。教職アドバイザーとして、学園内の豊富な人材による就職支援を行っています。筆記試験はもとより、人物試験、実技試験に対しても、きめ細かくサポートします。



卒業生紹介

帝塚山大学を卒業後、社会で働く先輩方を紹介します。



山本 礼乃さん

現代生活学部 居住空間デザイン学科 2015年3月卒業
株式会社中研コンサルタント 勤務

私の勤務する株式会社中研コンサルタントは、社会資本や建築物の新設・維持管理時の各種調査・試験を行っているコンサルティング会社です。入社後、新入社員研修を経て、現在は大阪技術センター地盤グループに所属しております。当グループでは、建築物などを建設する際の土質や地盤の調査・試験を担当しています。具体的には、現場の地盤にセメントをどれくらい混合して改良すれば安全に建築物などを建てられるか検査する「配合試験」や、基礎的な土質の性状を調べる「土質試験」などで、地味で目立たない試験ですが建築物などを建てる際には重要な試験を担当しています。

この春から社会人4年目がスタートし、これからは人々が安心して暮らせるための基礎となる地盤改良はもちろん、災害による被災地復興など人々を支援する業務にも関わり、一人でも多くの方を笑顔にすることを目標として頑張っています。今後は、日々の業務と併せ、2級建築施工管理技士や地質調査技士などの資格取得にも取り組んでいこうと思っています。

就職活動に臨む後輩たちへのメッセージ

私の学生時代は、建築業界での内定取得がまだまだ困難な状況でした。異業種で就職活動する友人たちに次々に内定が出て焦りはありましたが、会社訪問の帰りにスイーツ巡りをするなど、気分転換の小イベントを盛り込むことで楽しみもでき、気持ちに余裕が生まれていきました。そのような中、ゼミの指導教授から当社の情報ももらい、選考試験に臨んだ結果、採用に至りました。後輩のみならずも学生生活や就職活動、さらに社会人となって仕事などで緊張が続いた時には、時折リラックスタイムでできる時間を織り交ぜながら目標を一つひとつ達成してください。

大学卒業後、常勤講師として勤務しながら公立中学校教員採用試験に臨み、貝塚市立第二中学校への赴任が決まりました。3年前より支援学級を担任することになり、集団の中で学習することに苦手意識がある生徒や、コミュニケーションの取り方や人間関係を築くのが苦手な生徒たちのサポートや支援を行っていました。また、帝塚山大学在学中に取得した司書教諭資格を活かし、「学校図書室担当」として図書室の運営に携わることや、「貝塚市子ども読書活動推進計画策定委員」として現場からの声を協議会などへ伝える活動にも取り組んでいます。

現在、支援教育に携わっていることから、特別支援学校教諭二種免許状の取得準備を進めています。日々の教師生活の中では生徒同士の繋がりを大切に、教師がその懸け橋になればと考えています。一般的に支援学級に対して「特別な場所」という意識が少なからずあると感じているので、各学級と変わらない一つの教室となるような意識を大切にしています。

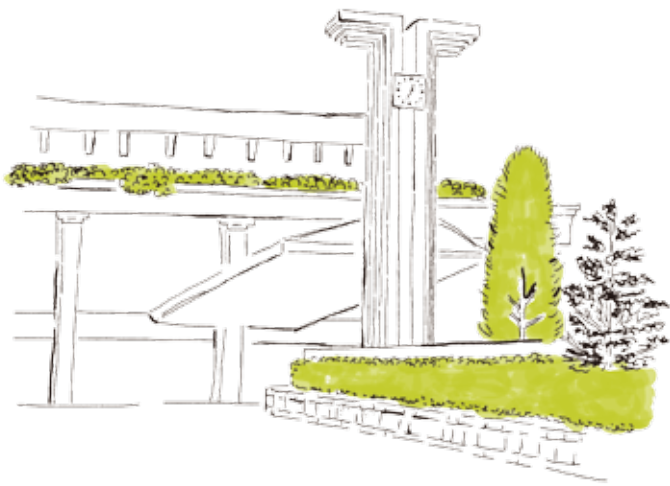
就職活動に臨む後輩たちへのメッセージ

社会に出ると様々な世代の方たちと関わって、チームで仕事を進めていかなければなりません。教育現場でも教師同士はもちろん、生徒、保護者、地域の方々との関わりが重要となってきます。「二期一会」という言葉があるように、人との出会いや繋がりを大切にしたいと思っています。たくさんの人と関わり、たくさんのお世話になり、たくさんの人に感謝をしながら社会の一員として頑張りたいと思います。また、教職をめざす皆さんには、自分の発する「ことば」を工夫することを意識し、子どもを始めとした様々な世代の人に合わせた自己表現ができるよう努めて欲しいと思います。



竹田 洋平さん

人文科学部 日本文化学科(現:文学部 日本文化学科)
2012年3月卒業
貝塚市立第二中学校 勤務



CAMPUS REPORT

キャンパスレポート

奈良・東生駒、学園前の両キャンパスの学部・大学院における取り組みを紹介します。

SPECIAL CAMPUS REPORT 現代生活学部食物栄養学科

第12回あかね祭にてNew「御殿様弁当」を販売しました



佐伯ゼミと株式会社味の和和路とのコラボ弁当は第3弾となります。2016年より、ならコープの夕食宅配サービス「帝塚山大学の日」弁当シリーズとして、味の和和路監修のもとゼミ生の作った献立が登場しています。今年登場する献立から、大和野菜「大和まな」のお浸しや茶飯、塩麴を使った和え物など、大和野菜や昔ながらの料理をアレンジし、奈良のお殿様が召し上がったも満足いただけるNew「御殿様弁当」に仕上げました。当日準備しました150食は即完売となり大変ご好評をいただきました。



1

文学部 日本文化学科

奈良県立図書館において
特別展示を開催



6月26日～7月8日、奈良県立図書館において、本学主催の特別展示「山里に行き交う職人たち」を開催しました。本展示は、明治末期から昭和初期の天理市福住の生活を描いた永井清繁さんの画帳のうち、職人の絵を主題にパネル展示したものです。民俗学ゼミ・中世史ゼミ、および居住空間デザイン学科の学生たちが現地で聞き取り調査を行い、展示の企画・準備を進めました。7月7日には、学生たちが展示解説を行うとともに、復元した屋台での買い物体験コーナーを設け、幅広い年代の方に楽しんでいただけた内容となりました。

2

経済学部 経済学科

実践力を身につける授業を
行っています



経済学部では実学的な授業を多く開講しています。この「eラーニング経済学」では、帝塚山大学のeラーニングシステムTALESを使って、学生一人ひとりが経済学の基礎を学び、その応用として5万人以上の一般人が参加する株式投資のシミュレーションや、金融関係に就職するために役に立つ証券外務員資格の勉強に取り組んでいます。また今年度は、人気のスマートスピーカーを授業で使い、学生が人工知能とおしゃべりしながら勉強できる新しい教材を開発中です。

3

経営学部 経営学科

ゼミ選びに向けた「専門導入演習1」を
実施しています



「専門導入演習1」は、8名の専任教員によるオムニバス形式の講義とゼミ選びで構成されています。これは初の試みで、自ら興味のある研究分野やテーマについて深く知り・考え、2年生後期から本格的に始まるゼミを選択する道筋を提供することを目的とした授業です。

学生の皆さんには、この授業を通して選んだ興味のある研究テーマについて、ゼミの仲間と共同研究し、課題解決を図る能力を高められるよう、しっかり取り組んでほしいと願っています。

4

法学部 法学科

奈良県警察本部と
警察学校の見学を実施

奈良県警察との協働により開講している特殊講義「警察組織と警察実務」の一環として、奈良県警察本部と奈良県警察学校の見学を実施しました。警察本部では通信司令課などの施設見学に加え、リクルーターを務める本学部卒業生から仕事のやりがいや採用試験対策など、経験に基づく貴重な話を聞くことができました。その後、警察学校に移動し、寮などの施設見学のほか、職務質問の練習など現場対応訓練の授業も見学しました。警察学校には入校中の本学部卒業生もおり、元気な姿を見せていました。

5

心理学部 心理学科

就職支援セミナーがスタート！



3年生を対象とした就職支援セミナーがスタートしました。就職活動に対する心構えや基礎知識など、必要なスキルを学ぶために実施されています。株式会社リクルートキャリアより講師の方をお招きし、「現在の就職環境」・「就職活動スケジュールの理解」などについてレクチャーをしていただきました。3年生は、就職活動についてまだまだイメージできないところもあったようですが、今後このセミナーの定期的な受講を通して、就職活動に対する意識が高まっていくことでしょう。

6

現代生活学部 居住空間デザイン学科

課題作品の
合同講評会が行われました

居住空間デザイン学科では、建築・インテリア系実習、プロダクト・ビジュアルデザイン系実習のほとんどで、自分の完成作品をプレゼンテーションする取り組みを行っています。5月には建築士受験資格をめざす2年生の「空間デザイン実習II」や、より専門的な段階に入った3年生の「インテリアデザイン実習」で、前半の第1課題の合同講評会が行われました。担当する全ての教員と同級生を前に自分の作品について説明し、その後、質疑に応答しました。指摘のあった部分や他の作品を見て、さらに修正・完成させた後、第2課題に入ります。

1

大学院 心理科学研究科
心理科学専攻

学術イベントを開催！



心理科学研究科では、5月12日に学術イベントを開催しました。今年は「あるべき科学者-実践家をめざして」という題目のもと、本研究科博士後期課程を修了し、臨床実践を行いつつ、研究活動も続けている新進気鋭のお二人の先生（宮川裕基先生、盛永政和先生）に、それぞれの研究活動について詳しく講演をしていただきました。また、当日は大学院生や修了生らによるポスター形式の研究発表も行われ、会場は活気にあふれ、本研究科への関心の高まりが感じられました。

2

大学院 人文科学研究科
日本伝統文化専攻飛鳥遺跡ツアーで
ガイドを行いました

考古学ゼミ（清水昭博教授）では5月に毎年恒例の飛鳥遺跡ツアーを実施しました。この企画は地元の歴史サークルと共同で、一般の方々を対象に飛鳥の遺跡をガイドするものです。大学院生は企画の準備や当日の司会、遺跡の解説などを担当します。文化財の大切さを人々に伝えることは、文化財を学ぶ者の責務です。人文科学研究科では日々の研究と共に、文化財を普及啓発する活動にも積極的に取り組んでいます。

7

現代生活学部 子ども学科

学生たちの投書が
新聞に掲載されました

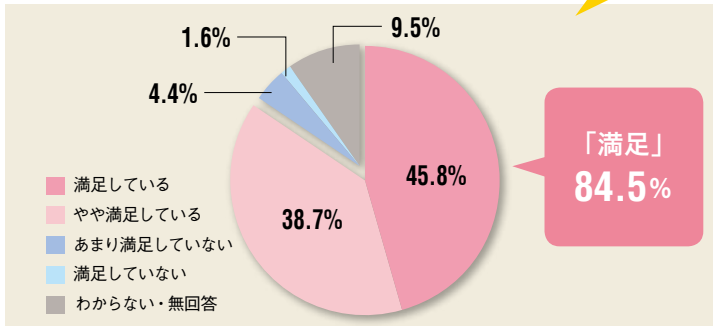
子ども学科の学生11名（2018年7月3日現在）の投書が新聞に掲載されました。書くことは考えること。エピソードをもとに自分の考えを明確にして発信することは、自ら考え判断し行動する力の基盤となります。「子どもたちの支えになりたい」という投書が、朝日新聞「声」欄に掲載され、その記事の読者から励ましの手紙が届いた1年生は「夢を叶えるために、今自分に何が必要かを考えることができました」と振り返っています。掲載された投書は、本学ホームページ内の現代生活学部ニュースに掲載していますので、ぜひ読んでみてください。

本学では、大学の教育・研究などに関する情報の収集と分析を通して、大学の経営に関する意思決定や、教育の改善のための計画策定などの支援を行うIR (Institutional Research)に取り組んでいます。

前号では、在学生の学生生活意識調査について報告いたしましたが、本号では2017年の夏に保護者の皆様にご協力いただき、実施いたしましたアンケートの集計結果の一部をご紹介します。保護者の皆様からお寄せいただきました貴重なご意見は、本学の教育および学生支援の充実・改善策を検討するために活用させていただいています。

保護者対象アンケート概要：留学生を除く在学生全員の保護者を対象。2017年7月末に保護者の住所に質問紙および返信用封筒を送付。回答数：496件、回答率16.0%

Q. 保護者の方は帝塚山大学に対して満足していますか？ (選択式)



8割以上の保護者の方が「満足」と回答

「満足している」理由は、「娘・息子が充実した大学生活を過ごしている様子を見て」という回答が最も多くあげられました。次いで、「学生一人ひとりにあわせた支援が行われている」と、本学のきめこまかな支援体制を評価する声も多くいただきました。

本学がスローガンとして掲げている「実学の帝塚山大学」では、学生たちの未来を見据え、その「人生を豊かにする力を身につける教育」を、プロジェクト型学習等を通して実践しています。この使命のもと、本学に対する学生・保護者の皆様の満足度をより一層高めていけるよう引き続き、学生一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでまいります。

Q. 帝塚山大学の強みは何ですか？ (自由記述)

年間最大5講座まで5,000円で受講できる「特別資格サポート制度(B制度)」(※対象学年限定)は2017年度入学生の3人に1人が利用しました。

立地・環境 11.1%

- 勉強に集中できる静かな環境 (文化創造学科・1年・男子)
- 環境の良さ (経営学科・1年・男子)
- 通学の利便性 (居住空間デザイン学科・2年・女子)

※学年は2017年時点

少人数・教員との距離 9.9%

- 人数が少ないので一人ひとりを大事にもらえる (日本文化学科・3年・男子)
- 少人数制の授業とゼミ (法学科・2年・女子)
- コンパクトで温かみを感じられる (心理学科・1年・女子)

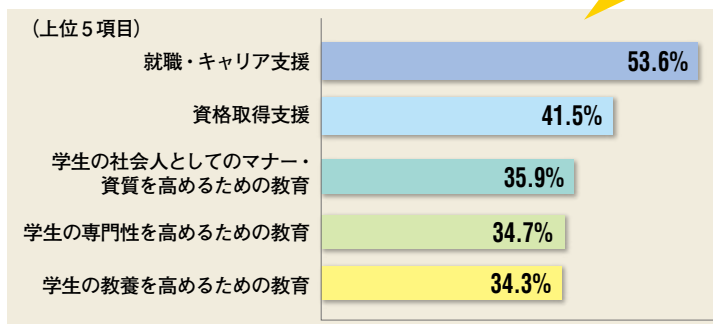
資格取得支援 8.7%

- 資格をたくさん取れる環境にある (経済学科・1年・男子)
- 国家試験対策が手厚い (食物栄養学科・2年・女子)
- 保育士、幼稚園、小学校の教員免許の同時取得 (こども学科・2年・女子)

本学の「面倒見のよさ」が評価

本学の「強み」を尋ねる質問への回答として、「立地・環境」のほか、「少人数・教員との距離」、「資格取得支援」など本学の「面倒見のよさ」につながる回答を多くいただきました。この「面倒見のよさ」につきまちは、受験情報会社である「大学通信」社から2017年12月に刊行された『大学ランキングブック』において、帝塚山大学が「面倒見のよい大学」として、全国約780の国公立大学のなかで、上位5%に入る35位、近畿圏では第5位にランキングされていて、社会からも高く評価されつつあると考えています。

Q. 今後、帝塚山大学が特に力を入れるべきと期待するものは何ですか？ (選択式・複数回答可)



上位は卒業後を見据えた学生への教育・支援への期待

本学では1年次からスタートするキャリア教育や学生全員に実施する個別面談、学生の費用負担の軽減などの支援を行う特別資格サポート制度など、多彩なキャリア支援を展開しています。今後も随時、取組を見直しながら、学生が夢を見つけ、夢をかなえるためのサポートに努めてまいります。

また、就職活動は、学生が主役であることは当然ですが、本学では保護者の方との関係も重視し、「学生・保護者の方・大学」という三位一体の支援を展開しています。大学が主催いたします保護者の皆様を対象とした説明会や懇談会にご出席いただくことを通して、今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

今年の6月中旬にも帝塚山大学後援会資料に同封する形で保護者の皆様にアンケートを郵送しております。本アンケートは、本学の教育および学生支援の充実・改善に役立ててまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

就職支援の取り組み

FROM THE CAREERS OFFICE

キャリアセンターより

就職活動は大学卒業後、実社会でどのような人生を歩んでいくかを考える機会であり、学生が本当の自立に向けて成長する良い機会でもあります。就職活動の主役はもちろん学生本人ですが、保護者・ご家族は心の支えとなる重要な存在です。キャリアセンターでは学生が自立し、主体的な進路選択・就職決定ができるよう多種多様なサポートプログラムを実施するとともに学生一人ひとりの希望、ニーズと進捗状況を踏まえたきめ細かい支援を行っています。

【帝塚山大学の主な就職活動サポートプログラム】 ※下記以外にも多数のサポートプログラムで学生の就職活動を支援しています。

【就職活動サポートガイダンス】

学部・学科ごとに定期的に就職ガイダンスを開催し、その時々に必要な情報の提供や就職活動に向けての準備講座や対策講座、各種セミナー等の案内などを行います。

【個人面談】※初回面談は全員必須

初回面談は7月以降に3年生全員と面談します。就職に対する考えや将来への希望など、自己理解への第一歩となります。二回目以降の面談は初回面談終了後に順次実施していきます。

【就職力・自己開発ゼミナール】

就職活動のみならず就職してからも社会で役に立つ知識や考え方を身につけ、問題解決能力や対人コミュニケーションスキルの向上をめざし、社会人としての基本的な行動力を身に付けます。

【エントリーシート対策セミナー】

エントリーシートの書き方、作成の仕方について学びます。自分の特徴、強み、学生時代に成長したこと、興味・関心事、挑戦したことなどを効果的に表現するための表現方法や技法を学びます。

【業界・企業・職種研究講座】

就職先を考え、選択するための大きな柱に「仕事理解」があります。業界、企業、職種を理解することで数多くの企業の中から自分に合った就職先(企業・仕事)を主体的に選択できる力を身に付けます。

【保護者対象就職説明会を開催しました】

4月21日、奈良・東生駒キャンパス6号館において、2年生および3年生の保護者の方々を対象とした就職説明会を開催しました。当日は、株式会社マナビ副編集長の藤原武史様から「最近の採用動向・就職活動状況について」と題して講演。その後、キャリアセンターから本学の就職支援体制や就職サポート行事などについて説明し、公務員試験や企業の採用動向、資格取得等について、保護者の方からの質問に答えました。参加した保護者の方からは、「自分たちの頃との様変わりには驚きましたが、家族の支援のポイントがよくわかりました」「大学が細かいところまで学生のことを考えていることを知り、不安が減りました」といった感想が聞かれました。当日は240名にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。ご参加いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

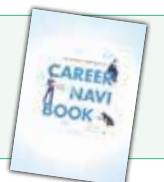


【主な就職先】 ※業種分類は日本標準産業分類に準拠 【就職内定率】 97.5% 【求人件数】 32,717件

【建設】	【卸売】	【宿泊】	【公務】
大和ハウス工業(株)	三菱電機住環境システムズ(株)	(株)ホテルニューアワジ	四条畷市役所(行政職)
(株)銭高組	ナブコドア(株)	【金融】	天川村役場(行政職)
(株)一条工務店	中日本フード(株)	日本郵便(株)	三重県教育委員会(栄養教諭)
大東建託(株)	尾家産業(株)	京都中央信用金庫	警視庁
(株)森組	いすゞ自動車近畿(株)	奈良信用金庫	奈良県警察本部
日成ビルド工業(株)	日産部品近畿販売(株)	大阪シティ信用金庫	大阪府警察本部
【不動産】	【小売】	大阪信用金庫	和歌山県警察本部
日本エスリード(株)	市民生活協同組合ならコープ	大阪商工信用金庫	大阪市消防局
【製造】	ロクシタンジャポン(株)	岡三証券(株)	枚方寝屋川消防組合
パナソニック(株)エコソリューションズ社	(株)わかさ生活	エース証券(株)	大阪府教育委員会(小学校教諭)
東洋シャッター(株)	【飲食】	第一生命保険(株)	兵庫県教育委員会(小学校教諭)
大阪ガスLPG(株)	(株)グリーンハウス	奈良県農業協同組合	京都市教育委員会(小学校教諭)
(株)ジェイテクト	日清医療食品(株)	京都府漁業協同組合	横浜市教育委員会(小学校教諭)
ケンコーマヨネーズ(株)	【サービス】	【情報通信】	奈良市役所(保育教育士)
わらべや日洋(株)	西尾レントオール(株)	ニッセイ情報テクノロジー(株)	神戸市役所(保育士)
酔醇酒造(株)	(株)共立メンテナンス	(株)ソフトウェア・サービス	枚方市役所(保育士)
【運輸】	ホテルマネジメントインターナショナル(株)	【教育】	岸和田市役所(保育士)
西日本旅客鉄道(株)	大和リース(株)	大阪学芸高等学校(教諭)	野洲市役所(保育士)
(株)日立物流西日本	宗教法人浄土宗 総本山知恩院	帝塚山幼稚園	大淀町役場(保育士)

【CAREER NAVI BOOK】

学生の皆さんはもちろん、保護者の方々にも読んでいただきたい内容をコンパクトにまとめてリニューアルしました。過去の主な就職先一覧は最新(2018年3月時点)のものを掲載しています。



【お問い合わせ先】キャリアセンター

奈良・東生駒キャンパス Tel 0742-48-9688
奈良・学園前キャンパス Tel 0742-41-4751

CLUB ACTIVITIES

クラブ・サークル活動

クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。
学生たちの元気な姿をお届けします。

今回の PICK UP!



① 奈良・学園前キャンパス

Switch

より完成度の高いパフォーマンスをめざして!

私たち Switch は現在、3年生6名、2年生2名、1年生8名の計16名で活動しています。今年度の「あかね祭」を見て入部を希望してくれた1年生がとても多かったため、Switchの今後のパフォーマンスの幅も広がるであろうと期待しつつ、日々練習に取り組んでいます。Switchの主な活動は、「あかね祭」、「虹色祭」でのステージ発表です。年に2回と限られたステージである分、一つひとつのステージに向けての練習に時間をかけ、より完成度の高いパフォーマンスを披露できるよう部員一同全力で励んでいます。

全員で頑張っています!



プロバスケットボールチーム「バンビシャス奈良」の催しで好演

今回、Switchとしては初めてBリーグのイベントでのパフォーマンスに参加させていただくことができました。4月29日奈良市中央体育館で行われたBリーグの最終戦のオープニングアクトとして出演しました。体育館という360度お客様に見られる中で行うダンスパフォーマンスでは今までにない緊張感、そして踊り切った後は今までにない達成感を感じることができました。終了後には選手の皆さんと記念撮影させていただくこともでき、大変貴重な経験となりました。「あかね祭」に向けての練習とイベントに向けての練習を同時進行で行っていたので、それぞれ時間的にも精神的にも大変でしたが、本番終了後に部員全員が、「このイベントに出演できて本当に良かった」と笑顔で語り合っていたことが何よりも良かったと思えました。この経験で得たものを活かし、大学祭などの行事はもちろん、学外での催しでもSwitchらしい、大勢の人を魅了できるパフォーマンスをしていきます!

② 奈良・東生駒キャンパス

硬式野球部

阪神大学野球連盟 春季リーグ2部東リーグ優勝!

阪神大学野球連盟2部東リーグ所属の本学硬式野球部は5月12日、14日と大阪電気通信大学との最終節を連勝し、通算成績を8勝2敗とし3季ぶり10回目の優勝を飾りました。勝てば優勝という最終戦は序盤膠着状態でしたが、4回表の攻撃で今シーズン好調な打線で3点を奪い先制、5回裏に2点を返されるも6回以降、松本大地投手(経済学部2年)が連投にもかかわらず追加点をゆるさず、打線は7回に1点、9回に2点追加し6-2と勝利し、2部東リーグ優勝を飾りました。入替戦出場決定戦では西リーグ優勝の流通科学大学と戦い、第3戦までもつれる激戦でしたが、延長13回健闘むなしく敗戦となり、1部リーグ復帰は叶いませんでした。春季リーグ戦表彰選手の発表では帝塚山大学から5名もの選手が選出されました。また、主将の田村優来選手(経営学部4年)は第25回大学野球関西オールスター5リーグ対抗戦に阪神リーグ代表メンバーとして出場をいたしました。春季リーグが終了し、新チームへの移行となりましたが、6月2日からの2018年度新人戦トーナメント(1部、2部混合)においては1部リーグの2大学を撃破し、準決勝で大阪体育大学に2-4で惜敗するも3位入賞という結果を残しました。春季リーグ、新人戦の戦いを通じてチームが一つにまとまることができたと選手は感じています。充実した夏の練習を過ごし、秋季リーグでは1部復帰を果たしてくれると信じています。引き続き、皆様の熱い声援をよろしくお願いたします。



声援をお願いします!



3 奈良・東生駒キャンパス

Jazz&Blues部

個性豊かなメンバーが揃っています！

私たちJazz&Blues部は、コピーバンドを中心としたライブ活動を行っています。4月に行われる学園前キャンパスでの「あかね祭」では食堂において、軽音楽部とフォークソング部と合同でライブを行いました。11月の東生駒キャンパスでの「虹色祭」では、野外ステージでのライブを行っています。また、他大学との交流を深める事に力を入れており、昨年度はライブハウスにおいて3大学合同ライブを行いました。現在47名が所属しており、活動日には部室から人が溢れかえっています。『音楽を楽しむ』という共通の目的を持って集まったメンバーなので、仲の良いことがこのクラブの大きな特徴です。昨夏には小豆島で3泊4日の合宿を行いました。各々のキャンパス、学部、学年問わず交流の場を広げることができ充実した合宿を行えました。個性豊かなメンバーが揃う、Jazz&Blues部のライブへ是非一度お越しください！



4 奈良・東生駒キャンパス

楽笑Crew

楽しく笑って…楽笑！！

こんにちは！ストリートダンスクラブの『楽笑Crew』です！私たちは1年生20名、2年生16名、3年生26名の計62名で活動しています。週2回、火曜日と木曜日に東生駒キャンパスのセミナーハウスにて活動しています。このセミナーハウスは部屋も広く、鏡もあり、温度調節もしっかりできる設備の整った恵まれた環境です。ジャンルはhip hop、Rock、pop、break、jazz、waack、krumpなど幅広いパートに分かれ練習しています。自分たちでunitを組み、曲を選び、フリを作りShowcaseを皆で完成させます。大学祭への参加、学外のイベント参加は勿論の事、中でも年に数回の学内でのゲリラライブでは学生、教職員の方々全てに披露する絶好の機会のため、力が入ります。開催はいつになるかのお楽しみ…。「楽しく笑って」をモットーに男女、学年に関係なく、個性豊かなメンバーでの活動も既に11年続けています。これからも「楽しく笑って」活動していきますので応援のほどよろしく願いいたします！



5 奈良・学園前キャンパス

卓球サークル

ピンポンとは違うワンランク上の“卓球”をめざして！

私たち卓球サークルは、毎週金曜日に奈良・学園前キャンパスにて、内部での試合や練習をし、活動を続けてきました。この期間でメンバーが増え、活動日を木曜日・金曜日の2日間に増やすことができました。現在、卓球台5台を、男性28名、女性21名の計49名で使用しています。初心者も大勢いる中、経験者が教えたり経験者同士が試合形式で打ち合ったりとお互いにコミュニケーションをとりながら、和やかな雰囲気です活動しています。「あかね祭」では、卓球体験&見学会を実施しました。最近の張本智和選手や伊藤美誠選手、平野美宇選手などの人気も手伝って、小学生から大人まで幅広い年齢層の方に大勢ご参加いただき大盛況でした。何歳になっても楽しむことのできる卓球。今後ともピンポンとは違うワンランク上である“卓球”をできるように切磋琢磨していきます。



6 奈良・学園前キャンパス

イルミネーション推進委員会

活動に期待してください！

イルミネーション推進委員会です！私たちは主に冬に活動を行います。10月までにイルミネーションのデザインを決め、11月、12月に自分で考えたデザインをもとに、奈良・学園前キャンパスにイルミネーションの飾り付けや、装飾品の作成などを行います。活動は主に2年生を中心に行っていますが、今年は1年生が多く入ったので、みんなで協力し合い素敵なイルミネーションを作りたいと思っています。冬のキャンパスを装飾するイルミネーションは、師走の期間を彩り、学園前地域の方々にも和ませるものと思います。



帝塚山大学の様々な地域連携活動を紹介します。



最優秀賞受賞後の記念撮影

1 地域活性化イベント「大和郡山フェア」に参加しました

6月2日、3日の2日間にわたり、イオンモール大和郡山で開催された地域活性化イベント「大和郡山フェア」に現代生活学部食物栄養学科の学生が参加しました。

食育ボランティアサークル「ヘルスチーム菜良」のメンバーが、大和郡山産の学校給食に使用している野菜のPR及び丸なすのPRの試食調理や配布で協力しました。さらに2日目には、大和郡山市保健センターで公衆栄養学臨地実習中の学生8名がステージイベントに登場しました。

今回のイベントでの目玉は、ピッツェリア・イタリア料理店「サンパー」(大和郡山市)と共同開発したピザの販売です。奈良女子大学、近畿大学、本学の3大学のヘルスチーム菜良がそれぞれ個性を生かしたピザを考案、その売り上げ等を基に勝敗を決めるピザバトルが行われました。試食の配布の他、ステージでのPRタイム等によりお客様にピザの魅力をお伝えしました。3日のステージのラストは結果発表と表彰式です。見事、帝塚山大学ヘルスチーム菜良の「パリッと新食感！レンコンチップのせ大和丸なすピッツァ」が最優秀賞をいただくことができました。また、イベント全体への協力の御礼として、ヘルスチーム菜良顧問の岩橋明子准教授にもイオン大和郡山店の山森店長から感謝状をいただきました。

ヘルスチーム菜良の学生たちは、ピザの考案から試作、商品ラベルのデザイン制作、媒体の準備、大和郡山産野菜についての事前学習、4年生の実習生はダンスやクイズの準備など、今回のイベントに関わった多くの学生が様々な体験を通じて学びを得ることができました。



販売中の様子

2 田中ゼミ×小金屋食品株式会社

「奈良の味 帝塚山大学NATTOプロジェクト」が順調に進んでいます

経営学部の田中ゼミでは「演習Ⅰ」で、4月より納豆製造・販売業の小金屋食品株式会社とコラボをし、新商品の開発に取り組んでいます。現在、同社では8種類の味を販売していますが、そこに奈良の特産品を使った「帝塚山フレーバー」が加わります。

学生は直営店の訪問、試作品のアイデア出しと試食、本学職員を中心としたアンケート調査の実施、来学された経営者とのディスカッション等を行い、さまざまな角度から味を絞り込んでいます。さらに素材を提供してくれる会社の発掘・交渉、パッケージやネーミング、食べ方の提案等に至るまで検討は続きます。

「帝塚山フレーバー」は、11月の東京での催事と本学の大学祭で、同時お披露目となりますが、ヒット商品になることはもちろんのこと、これを機に帝塚山大学の知名度やイメージを向上させることも狙いです。

これらの経験を通して学生は、主体的、関わる楽しさや、消費者が求める未知なるものを探求する難しさを学ぶとともに、ひいては大学に対する愛校心も培ってくれることでしょう。



納豆BAR小金屋直営店(大阪市西区)を訪問



吉田恵美子社長とゼミ生によるディスカッション



4月21日「奈良市民公開講座」で発表する熊谷ゼミの学生たち

3 熊谷ゼミは「NARAソックス・プロジェクト」に参加しています

奈良の靴下産業は高度な技術を持ち、全国一の生産量を誇りますが、中国などの安い製品に押されて年々生産量が落ち込んでいます。一方、高機能の弾性ストッキングは脳血管障害の予防に効果的ですが、現在流通している商品はドイツなどの高額製品が多く、予防用にはまだ普及していません。

そこで奈良の靴下のまち奈良県広陵町の老舗靴下メーカー 昌和莫大小株式会社、医療法人 康仁会 西の京病院と本学経済学部熊谷ゼミ、畿央大学健康科学部村田ゼミが協力して、良質で比較的安価な弾性ストッキングを開発し、奈良の靴下産業のブランド化と高齢化社会に向けた予防医学の啓蒙を目的とした「NARAソックス・プロジェクト」が始まりました。

熊谷ゼミは奈良の靴下産業の実態調査、地域ブランド化の先進的取り組みの調査、健康市民講座での高機能弾性ストッキングの広報活動などを行っています。学生はこの活動を通じて、地域の地場産業の実態や地域医療の直面する問題を学ぶと同時に、様々な専門性を持ち寄って課題を解決することの難しさと楽しさを学んでいます。

『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進 最新の取り組み

帝塚山大学は、文部科学省「平成29年度 私立大学研究ブランディング事業」（補助期間：3年間）に採択され、本学独自の「奈良学」研究を通じて、奈良の活性化をめざす『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進を進めています。本事業につきましての最新の取り組みを紹介いたします。



鷺森教授（奈良学総合文化研究所 所長）講演の様子

特別展示「奈良学の軌跡展」萌芽期から黎明期、そして発展へ」の開催
帝塚山短期大学名誉教授の故青山茂先生が提唱した「奈良学」は、単なる郷土史や古代史にはとどまらず、奈良に存在するさまざまな文化遺産や観光資源を巨視的かつ微視的にとらえ直すことで、奈良に暮らす人々と奈良とのかわりに光を当てるものでした。

青山名誉教授の遺稿や調査カードからうかがえる「奈良学」を明らかにするとともに、本学のあゆみとともに発展、進化してきた「奈良学」の変遷を広く一般の方々にも知っていただくため、6月26日から7月20日の期間、奈良・東生駒キャンパス図書館にて特別展示「奈良学の軌跡展」萌芽期から



黎明期、そして発展へ」を開催、同時に今回の私立大学研究ブランディング事業における「奈良学」の研究成果も公開しました。

6月30日には、奈良・東生駒キャンパス図書館シーキューブにて公開講座「奈良学が目指すもの」を開講、文学部鷺森浩幸教授（奈良学総合文化研究所 所長）と岩井洋教授が講師を務め、定員を上回る多くの方が来場しました。

鷺森教授は「奈良学」の歴史に触れながら、奈良の魅力を再発見し、発信する窓口としての本学の役割について発表、岩井教授は現在の取り組みとこれからの「奈良学」の展望について解説、講座終了後には展示解説が行われました。受講者からは、「青山名誉教授の視点や各地に地域学が広がっていることがわかった」などの感想や、「地域の大学として「奈良学」の普及に期待する」などのご意見が寄せられ、本学が推進する学際的「奈良学」について、改めて一般の方々に知っていただく良い機会となりました。



機織機を使った実習の様子（初級編）

「帝塚山大学 織物講座（初級編）（応用編）」の開催
織物の歴史や複数の織物技術の習得を通じて、奈良の地域振興の活性化に貢献する人材を育成することを目的に、植村和代本学名誉教授が講師となり、社会人の学び直しプログラムの一環として、昨年10月3日から今年1月17日までの3ヶ月間、織物講座（初級編）を開講しました。

120時間の講義と実習を修了すると、文部科学省学校教育法105条の規定による履修証明「帝塚山大学織物マイスター初級」が発行される特徴的な講座として開講しました。本講座の修了生からは、「たくさんの機（はた）織技法を学ぶことができ、非常に有意義な3ヶ月間でした」「見よ



植村名誉教授による「腰機」指導の様子（応用編）

う見まねで機織機を操作して、作品が出来上がるまでに成長できました」など、充実した内容の講座に対する満足の声が多く寄せられました。続編を望む受講生のために、修了生を対象とした応用編を5月8日より9月13日までの期間で開催することになりました。応用編では「織物の発明と展開」をテーマに、奈良の伝統産業である「奈良晒」や「大和機」についての講義に加え、大和機、腰機、芋績み（おうみ）、スプラング、綿など、様々な紡織技法について実習を通して習得することを可能としています。さらに10月2日からは、織物講座（初級編）の第二期がスタートします。（応募詳細は本誌P18）



この椅子の名称 LC4 は近代建築の巨匠ル・コルビジエの頭文字で、番号は数あるデザインの中の1つを示す。中でもこの LC4 はコルビジエの椅子として特に有名なものであるが、実際にこのデザインを手掛けたのは、彼がモダニズム思想のもとに率いたアトリエの一員であったシャルロット・ペリアンという仏女性デザイナーである。

当時におけるスチール製の家具は、やはり当時新しい建築材料であったコンクリート製の建築と同じく、新しい時代のデザインの幕開けを象徴していた。

また彼女は1940年代、日本に滞在し、デザインの調査や指導を行っていた親日家としても知られている。フランスに帰国後、日本で影響を受けた竹を使ってこの椅子をリデザインしており、そちらのシェーズロングも素晴らしい。

奈良学

への招待

谷崎潤一郎と若草山

現在の若草山は、昭和十年までは一般に三笠山と呼ばれていた。谷崎潤一郎の作品の中では、昭和三年の「朧(まんじ)」と昭和六年の「吉野葛」の二作品に、この三笠山が登場する。

ところが、昭和

十年に三笠宮家が創設された際、時の宮内大臣、湯浅倉平が、「三笠宮家の名称は、春日山の西峰が古来三笠山(御蓋山)と呼ばれ、詩や歌に詠まれてきたことにちなむ」という「謹語」を出した。これを受けた奈良県庁が、御蓋山の北にある若草山を「三笠山」と呼ぶことをはばかり、「若草山」と改めることにしたのである。

谷崎潤一郎も、皇室にかかわる地名による筆禍を恐れたのか、昭和十年以降新たに出版した「朧(まんじ)」と「吉野葛」の諸本で、それまで「三笠山」「三笠の山」としていたものを、「若草山」と書き換えている。おもしろいのは、「吉野葛」をはじめて収録

した単行本の『盲目物語』(昭和七年刊)が昭和二十一年に同じ紙型を用いて再刊された時、もとは「三笠山」「三笠の山」であった箇所を、それぞれ「若草山」「眼前の山」と変えている。後者を「若草山」にしたのでは、一文字分空白ができることからの窮余の策であろうが、この本だけ他と本文が違っているのである。

文学部文化創造学科 教授

中島 一裕



谷崎潤一郎「吉野葛」(「潤一郎六部集」本、創元社、昭和12年)

十年に三笠宮家が創設された際、時の宮内大臣、湯浅倉平が、「三笠宮家の名称は、春日山の西峰が古来三笠山(御蓋



TEACHERS' PUBLICATIONS 本学教員の執筆図書紹介

青田 テル子 (法学部 准教授) 分担執筆

憲法
ベーシックテキスト 第3版
法律文化社 ¥2,808



石田 慎二 (現代生活学部 准教授) 分担執筆

家庭支援論 (MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 10)
ミネルヴァ書房 ¥2,376



岡澤 哲子 (現代生活学部 教授) 分担執筆

身体表現をたのしむ あそび作品集
かがわ出版 ¥2,160



河口 充勇 (文学部 教授) 分担執筆

華僑華人の事典
丸善出版 ¥21,600



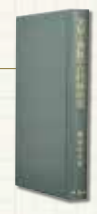
河越 隼人 (心理学部 准教授) 著

マイクロカウンセリングによるカウンセリング技法の習得
風間書房 ¥4,320



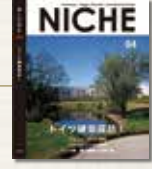
鷺森 浩幸 (文学部 教授) 著

天皇と貴族の古代政治史
塙書房 ¥12,960



新海 俊一 (現代生活学部 准教授) 分担執筆

NICHE 04 ドイツ建築探訪!
Opa Press、丸善出版 (発売) ¥2,592



百木 和 (現代生活学部 准教授) 共著

大学で学ぶ 食生活と健康のきほん
化学同人 ¥2,376



柳 元和 (現代生活学部 教授) 分担執筆

公衆衛生学 3訂第3版 (管理栄養士講座)
建帛社 ¥3,888



(著者名50音順)

TO THE SUPPORTERS' ASSOCIATION

後援会（在校生保護者）の皆様へ

大学後援会総会・大学ファミリークラブ総会・学外見学会を開催しました

5月19日、奈良・東生駒キャンパスにおいて、平成30年度帝塚山大学後援会総会が開催され、約130名の保護者の方々が出席されました。大学後援会は、学術の研究、学生教育の援助、また会員、教職員、学生相互の親睦を図ることを目的とした組織であり、在学生の保護者の皆様全員で構成いただいております。

総会の第1部では、平成29年度の決算報告の後、平成30年度役員人事や予算等に関する説明が行われました。第2部では、向井副学長より学生生活全般についての説明が行われ、学生アンケートの結果報告やベルリッツによる英会話講座“English Lounge(イングリッシュラウンジ)”の紹介等がありました。同日に、卒業生の保護者の皆様で組織いただいている、帝塚山大学ファミリークラブ総会も開催されました。

午後からはバスに分乗して法相宗大本山薬師寺を訪れました。ファミリークラブの皆様も合流し、ご法話および玄奘塔での貴重なお話をはじめ、玄奘三蔵院伽藍、白鳳伽藍と参拝見学をし、有意義な時間を過ごされました。



向井副学長による学生生活の説明



薬師寺見学の風景

保護者の皆様から以下のようなご意見・ご感想をいただきました (参加者アンケートより)

- 今年度の入学生が増えたこと、本当に嬉しく思います。
- いつも楽しみに参加しています。学外見学会は一般参拝者では見られないところやお話をじっくり聞けるところが帝塚山大学の強みだと思います。

「2018年度 保護者教育懇談会・就職説明会」を開催いたします

本会は、帝塚山大学後援会の協力のもと、学生の修学支援をはじめ、就職支援、生活支援等について、保護者の皆様と教職員が面談等の交流を行うことにより、大学生生活全般について、理解を深めていただくことを目的として開催しています。

昨年までの3つの違い

- ①「保護者教育懇談会」と「保護者対象就職説明会」の行事を同日開催に改めました。
- ②東生駒と学園前の両キャンパスとも同じ日時・スケジュールで行事を実施いたします。
- ③教職員との情報交換に加えて、4年生の内定者によるリアルな体験が聴けます。

開催日時：平成30年10月21日(日) 10:00～17:00

【奈良・東生駒キャンパス】

会場：6201教室(6号館2階)および学部別会場

対象：文学部・人文学部/経済経営学部/経済学部/経営学部/法学部に所属する学生の保護者の皆様

【奈良・学園前キャンパス】

会場：16602教室(16号館6階)および学部別会場

対象：心理学部/現代生活学部(食物栄養学科・居住空間デザイン学科・こども学科)に所属する学生の保護者の皆様

※両キャンパスとも同じスケジュールで実施いたします。

※お申込みにつきましては、大学より8月にお送りする案内をご覧ください。



全体会で蓮花学長の挨拶(昨年度)



懇談会での様子(昨年度)

内容・タイムスケジュール

[第1部] 保護者教育懇談会

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～ 全体会(開会挨拶・役職者紹介)
- 10:20～ 学部学科別説明会および情報交換会
- 11:40～ 学部学科別懇談会(立食形式で昼食、個別相談に対応)
- 12:50～ キャンパス見学ツアー(希望者のみ)

[第2部] 就職説明会

- 13:30～ 就職講演会
- 15:00～ 4年生内定学生によるパネルディスカッション
- 16:00～ 個別相談
- 17:00 終了予定

4月

4月1日

第55回帝塚山大学入学式、

第30回帝塚山大学大学院入学式を挙

行 奈良・学園前キャンパス学園講堂において二部制で行われ、第一部で文学部、経済経営学部、法学部、大学院人文科学研究科を、第二部で心理学部、現代生活学部、大学院心理科学研究科の入学式を挙行し、1053名の新たな帝塚山ファミリーのメンバーを迎えました。式場の外では記念撮影に興じる新入生の姿が見られました。



4月7日

ミス帝塚山の海出珠里亜さんが

一日警察署長に

春の交通安全県民運動キャンペーンにおいて、ミス帝塚山の海出珠里亜さん(心理学部4年)が奈良西警察署の一日警察署長を務めました。一日警察署長のタスキと委嘱状を手渡された海出さんは、この日のテーマである横断歩行者による交通死亡事故防止を力強く宣言し、行き交うドライバーへ向けて安全運転の推進を呼びかけました。



4月21日

ふるさと納税返礼品

「帝塚山大学産栗のパウンドケーキ」が発売

経済・経営・法の学部連携教育プログラム「アドバンスプログラム」履修学生と奈良市、フジエダ珈琲株式会社との間でふるさと納税の返礼品として開発してきた「帝塚山大学産栗のパウンドケーキ」が、奈良市HPのふるさと納税特別サイトにて「栗の極みごろっとパウンドケーキのコーヒージフトセット」として正式発売されました。本学附属博物館前で収穫した栗の実を使用した、まさしく「帝塚山大学産」のオリジナルスイーツです。



5月

5月12日～7月21日

附属博物館特別展示「鬼は語るく私が瓦になった理由(ワケ)」を開催

帝塚山大学附属博物館において、第30回特別展示「鬼は語るく私が瓦になった理由(ワケ)」を開催しました。本学が所蔵する飛鳥時代から江戸時代までの各時代の鬼瓦を26点出陳し、時代が変遷するにつれて姿を変えていった鬼瓦の歴史をたどる内容の展示となりました。会場では、さまざまな意匠の鬼瓦を楽しむ来場者の方の姿が見られました。



5月30日

新入留学生歓迎交流会を開催

奈良・東生駒キャンパスにおいて、外国人留学生と一般学生や教職員との交流を目的とした「新入留学生歓迎交流会」が開催されました。今年4月に入学した外国人留学生たちは交流を深め合い、笑顔あふれる時間となりました。順番に自己紹介をしていくゲームも行われ、参加学生たちは大いに盛り上がりました。



6月

6月12日

奈良ダイハツビジネスフェアに出展

奈良ロイヤルホテルにおいて開催された、奈良ダイハツ株式会社主催「奈良ダイハツビジネスフェア」に本学も出展し、「地域連携・産官学連携活動に積極的な帝塚山大学」をアピールしました。過去の連携事業や商品開発などの事例をブースで紹介し、今後の連携を希望される企業や自治体などがブースへ来られました。

6月14日～17日

「明治杯」全日本選抜レスリング選手権大会で銅メダル獲得!

東京・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催された「明治杯」平成30年度全日本選抜レスリング選手権大会に、本学レスリング部の島田樹さん(法学部3年)が出場し、見事第3位となり創部初のメダル獲得となりました。

第12回あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました



4月22日、奈良・学園前キャンパスにおいて、第12回あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました。今年のテーマは「Shine～君の未来は輝く～」。沢山の夢や希望を持って入学してきた新入生に対し、これからの学生生活で直面する困難な壁があっても相互に助け合って乗り越えていき、輝かしい未来に向けて歩んで欲しいという意味が込められています。当日は、学生・教職員・地域の方々約1,600名の来場者で賑わいました。「お笑いライブ」やBINGO大会、模擬店など様々な催しが行われ、最後を飾るダンスサークルによるパフォーマンスでは観客と一体化した熱のこもったダンスが披露され、大きな歓声に包まれました。同日に開催された帝塚山短期大学ホームカミングデーでは、多くの卒業生たちが訪れ、旧交を温めていました。

6月18日～6月22日

禁煙キャンペーンを実施

たばこによる健康被害にあらためて関心を持ってもらうため、学生と教職員による禁煙キャンペーンを実施しました。「禁煙支援 受動喫煙防止」大学周辺の環境汚染防止の啓発を目的として、各キャンパスにブースを設置し、肺年齢測定や禁煙相談などを行いました。また、奈良・東生駒キャンパスでは大学周辺での吸殻拾いも行いました。

6月20日

強化指定クラブ対象のSNSマナー講習会を開催

強化指定4クラブに所属する全学年の学生を対象としたSNSマナー講習会を開催しました。近年増えているネット上でのトラブル回避のため、ネット上でのネガティブな書き込みの危険性認識、SNSを利用する時のマナーなどを説明しました。

6月27日

生駒市図書館共催公開講座「興福寺の四季」を開催

生駒市図書館において、生駒市図書館共催公開講座「興福寺の四季」を開催しました。本学と生駒市図書館との共催講座は今年で30年目を迎えました。今回は、本学特別客員教授の興福寺貫首多川俊映氏を講師に迎え、興福寺で行われている寺役法要(月例勤行)や年中行事を紹介しながら、興福寺の全体像について講演いただきました。



6月28日～7月8日

特別展示「山里に行き交う職人たち」を開催

文部科学省私立大学研究ブランディング事業の一環として、奈良県立図書情報館で特別展示「山里に行き交う職人たち」天理市福住・永井清繁さんの画帳から」を開催しました。

7月7日には、パネル展示のもととなった原画を特別公開。本学教員による講演や関連イベントも実施しました。



7月

7月14日

寺島実郎特別客員教授による特別公開講座を開催

奈良・学園前キャンパス学園講堂において、寺島実郎特別客員教授(日本総合研究所会長、多摩大学学長)による特別公開講座「激動する世界と日本の進路」を開催しました。経済経営学部開設記念として行われたこの講座には本学学生、教職員、一般の方々など約300名が参加し、寺島特別客員教授の講演に熱心に耳を傾けていました。



多摩大学との大学連携による各種取り組み紹介

■ 多摩大学と「地域アクティブラーニング」を開講しました



学生によるプレゼンテーション

経営学部で開講する「特殊講義(地域アクティブラーニング)」(担当:日置慎治教授・田中雅子教授)は、学术交流に関する包括協定を締結している多摩大学との連携協定に基づき、共同で実施する授業です。

今年は経営学部の学生3名が多摩大学の学生たちと共に、7月1日～3日までの3日間の日程で、高山市久々野地域を訪れ、地域住民と共同で地域資源や魅力を発見・再認識したうえで、SNSを通してそれらを世界に情報発信しました。

それに先駆け、事前授業では久々野地域の魅力を調査・分析すると同時に、似た条件の他

府県の事例等も調べ、地域活性化に向けた議論を行いました。

現地では、1日目にはマーケティングの専門家の講義を受けた後、地域住民との意見交換を実施。2日目は資源の掘り起こし(町歩き)を行い、久々野の資源や魅力を情報発信すると同時に、活性化に向けた提案をプレゼン。3日目には今までのことを踏まえ、地域住民と協働して学生連携センターの開設について検討、プレゼンテーションを行いました。

このように、学生自身による新たな資源の発掘や情報発信、地域住民が抽出した資源・魅力の評価、地域資源を活用したグローバルビジネスの提案に向けた実践研究を通して、学生は観光立国日本における地方の立ち位置や、地方創生のあり方について主体的な学びを深めただけでなく、自身のキャリア形成等についても思いを巡らすことができたようでした。



地域住民と町歩きをしてフィールド調査



地域住民との意見交換の様子

織物講座(初級編)第二期生募集



社会人の学び直しの一環として、織物に関する歴史や、奈良の伝統産業である「奈良晒」・「大和機」の知識を深めるとともに、本学所蔵の「織機」を実際に用いて複数の織物技術を習得し、奈良の地域振興の活性化に貢献する人材を育成することを目的とした織物講座(初級編)を開講します。講座修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書「帝塚山大学織物マイスター初級」を発行します。なお、初級編修了者を対象とした応用編を後日開講予定です。

講師：植村 和代(帝塚山大学名誉教授)

澤田 絹子(元帝塚山大学非常勤講師)

定員：10名(書類審査・面接による選考 ※先着順ではありません)

会場：奈良・学園前キャンパス 授業方法：講義および実習

開催期間：平成30年10月2日(火)～平成31年1月22日(火)

受講料：15万円(税込、教材費含む)

出願期間：9月1日(土)まで

申込方法等の詳細は本学HP(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/>)をご確認ください。

【お問い合わせ先】

帝塚山大学 総務課 織物講座事務局

Tel 0742-41-4716(月～金 9時～17時) Fax 0742-41-4717

Museum Announcements

附属博物館からのお知らせ

第12回企画展示

「仏教美術のスズメII～仏画のヒミツ～」
企画展では、本学が所蔵する仏教美術の中で仏の姿を描いた仏画を中心に取り上げて、多彩な表現の魅力や込められた願いについて紹介いたします。

【期 間】10/3(水)～10/31(水)

【入 場 料】無料

【会 場】附属博物館

【開館時間】9:30～16:30

【休 館 日】日曜・祝日

※10/8(月・祝)は開館

【展示解説】10/20(土)・27(土) 15:45～



【阿弥如来迎図】



【両界曼荼羅図】

INFORMATION & EVENT NEWS

2018 August-December
お知らせ・イベントニュース

Public lectures

公開講座

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催
市民大学講座

申込不要 聴講無料

第410回 10月20日(土)14:00～15:30

「密教図像を語る～一意専心の芸術～」

<第12回企画展示関連講座>

講師：古川 攝一氏(大和文華館学芸員)

第411回 10月27日(土)14:00～15:30

「近江の古代寺院を語る」

<第31回特別展示関連講座>

講師：小笠原 好彦氏(滋賀大学名誉教授)

第412回 11月3日(土・祝)14:00～15:30

「蘇我氏を語る～古代史編～」

講師：鷲森 浩幸(帝塚山大学文学部教授)

第413回 11月10日(土)14:00～15:30

「蘇我氏を語る～考古学編～」

講師：坂 靖氏

(奈良県教育委員会事務局文化財保存課課長補佐)

定員：各回200名 会場：奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室

【お問い合わせ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

考古学研究所：

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/institute/arch/>

✉ arch@tezukayama-u.ac.jp

私立大学研究ブランディング事業

『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

奈良学への招待XVII「帝塚山大学の奈良学研究」

申込不要 聴講無料

第1回 10月20日(土) 10:30～12:00

演題 「五條の歴史学的研究

～交通遺産としての五新線を中心として～」

講師：岩井 洋(帝塚山大学文学部教授)

第2回 10月27日(土) 10:30～12:00

演題 「奈良晒と大和機」

講師：植村 和代

(帝塚山大学奈良学総合文化研究所客員研究員)

第3回 11月3日(土・祝) 10:30～12:00

演題 「永野鹿鳴荘の仏像写真について

～デジタル化作業からわかったこと～

講師：服部 敦子(帝塚山大学文学部講師)

第4回 11月10日(土) 10:30～12:00

演題 「斑鳩の民俗文化～奈良の生活文化研究～」

講師：高田 照世(帝塚山大学文学部准教授)

西連寺 匠(帝塚山大学大学院生)

第5回 11月24日(土) 10:30～12:00

演題 「矢田地蔵縁起絵の世界～奈良北西部の歴史・文化研究～」

講師：杉崎 貴英(帝塚山大学文学部准教授)

定員：各回100名

会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室(第4回のみ2号館2303教室)

【お問い合わせ先】

帝塚山大学 奈良学総合文化研究所

Tel 0742-48-8842(火・木・金 9時～17時)

English Lounge(イングリッシュラウンジ)開設のお知らせ

英会話を楽しく学ぼう！

English Lounge (イングリッシュラウンジ) がスタート！

Berlitz Speak with Confidence



帝塚山大学とベルリッツが連携し、4月に“English Lounge (イングリッシュラウンジ)”が奈良・東生駒キャンパス5号館1階ラーニングコモンズ内に誕生しました。ここではコミュニケーション英語のプロフェッショナルによる講座を大学にいながらにして受けることができます。イングリッシュラウンジは月、水、金の昼時間帯に各2クラスの開講として、「経済経営学部向けクラス」に加え、学部を問わず受講できる「オープンクラス」があります。また毎回テーマを決め、少人数での開講としています。海外留学に備えて英会話のスキルアップをめざす学生にも最適です。少人数予約制のため、事前申込が必要となります。

第31回特別展示

帝塚山大学附属博物館・東近江市能登川博物館共催展示
「東近江の古代寺院とその源流—東アジアからの道—(仮)」

東近江市には法堂寺麿寺や宮井麿寺など古代寺院が8箇所あり、これらの寺院遺跡は古代、東近江の地に仏教が伝わったことを示す重要な証拠です。本展では、東近江の古代寺院から出土した瓦や埴仏、塑像などの出土品とともに、本学附属博物館が所蔵する東アジア各地の古瓦や埴仏を合わせ展示することによって、東近江の古代寺院の源流を探ります。



「獣面文軒丸瓦」
(中国・南朝)

[期 間] 11/14 (水) ~12/23 (日・祝)

[入場料] 無料

[会 場] 東近江市能登川博物館

[会場開館時間] 10:00~18:00

[会場休館日] 月曜・火曜・祝日 ※12/23 (日・祝) は開館

[展示関連シンポジウム] 11/24 (土)

【お問い合わせ先】

帝塚山大学附属博物館

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>

Department of Psychology, Graduate School of Psychological Sciences Announcements

心理学部・心理科学研究科からのお知らせ



心理科学研究科(人文科学研究科時代を含む)で臨床心理士養成が始まって以来、現在までにちょうど100名の臨床心理士を輩出し、それぞれの方が社会で大いに活躍しています。本学大学院の教員組織やカリキュラム、学内実習施設「こころのケアセンター」などの水準は高く評価されていて、6年ごとに実施される公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による指定大学院実地視察においても総合評価として「A」評価をいただいています。今後も、この高い水準の維持に取り組んでいきます。

また、2017年9月15日に公認心理師法が施行され、心理学部・心理科学研究科では公認心理師養成のためのカリキュラム等の整備を行ってきました。2018年3月30日付で文部科学省および厚生労働省から、開設科目が基準に満たすことを確認したとの通知を受け、4月より公認心理師養成を開始しました。臨床心理士養成と合わせて、公認心理師養成に向けて本格的に取り組むこととなりました。

第7回ホームカミングパーティ開催のお知らせ

平成30年11月18日(日)に帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパスにて『第7回ホームカミングパーティ』を開催します。大学祭「虹色祭」開催中の母校で、懐かしの恩師・同窓生と一緒に学生時代にタイムスリップしませんか。

同窓生のみならずお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。



第6回ホームカミングパーティの様子



虹色祭(昨年度)



訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

本学の名誉教授であり元心理学部教授の三木善彦先生が、平成30年6月24日にご逝去されました(享年76歳)。大学院人文科学研究科臨床社会心理学専攻長(現:心理科学研究科心理科学専攻)・こころのケアセンター長をお務めいただきました。





国際交流

本学の国際交流

本学では、世界で活躍できる国際的視野を持った人材育成に力を入れており、海外留学奨学金、学費免除、単位認定といった充実した国際交流支援制度を準備し、多くの学生に海外留学への道を開いています。

● 留学制度

休学せずに給費留学奨学金を受給し留学できる

「海外留学奨学生制度(正規留学1年間)・(語学留学6ヶ月)」

休暇を利用して語学が習得できる

「海外短期語学研修制度(約1ヶ月)」

● 海外協定大学

欧州、北米、アジア、オセアニアの4大陸6カ国13大学と協定を結んでおり、学生の希望に合わせた留学が可能となっています。

● 外国人留学生

9つの国と地域出身の163名の留学生が、両キャンパスに在籍しており、日々の授業や留学生交流会などを通して、日本に居ながら日常的に異文化交流が図れる環境が整っています。

参加学生の感想

ニージーランド

(クライストチャーチ工科大学 Ara)

ホストファミリー、Araの先生・学生、NZに住む人たちとの交流が短期語学研修の最高の経験でした。初め



世界一星空が美しいといわれている「テカボ湖」にて

(経済学部3年生女子)

のホームステイを、笑顔で迎えてくれるホストファミリー、授業で分らないでいると気づいて教えてくれるクラスメイト、知らない土地で道を聞くと立ち止まって教えてくれる人たちがばかり。すれ違う人は、必ずHelloと挨拶してくれ、1日が朝からHappyに過ごせました。笑顔とコミュニケーションの大切さを痛感した研修でした。

(心理学部1年生男子)

私達は常に受身の姿勢で、自分の要求に相手が応じてくれることを待つことが多いです。しかしこの研修を終えて、積極性や行動力を発揮できる者が、自分の望みを叶えることができるのだと学びました。これは失敗から学んだことですが、思わぬ出会いを生み出すことにも繋がります。失敗した経験から何を学ぶのが大切だと思いました。

2019年度 帝塚山大学 ファミリー入試のご案内

— 来春、受験を控えたご子息ご息女をお持ちの保護者の皆様へ —

帝塚山大学では、卒業生、
もしくは在学中の方のご家族を対象とする
入試制度「ファミリー入試」を実施しています。

ファミリー入試とは、帝塚山学園の建学の精神・学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えをいただける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、短期大学)の卒業生もしくは在校生・在学生の2親等以内の親族で、本学が定める基準を満たし、高等学校を2018年4月1日から2019年3月31日までに卒業された方または卒業見込みの方です。

* 出願の際には「帝塚山ファミリー」であることの証明書(卒業証書の写し・卒業証明書等を添付)が必要です。

選考方法: ①面接②書類審査(調査書・志望理由書)

詳しい出願資格や要件等に関して、必ず事前に入試課までお問い合わせください。オープンキャンパスにご参加のうえでお問い合わせいただくことも可能です。

【お問い合わせ先】

帝塚山大学 入試課

Tel: 0742-48-8821(直通) Fax: 0742-48-9021

nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

募集学部学科

学部	学科	募集人数
文学部	日本文化学科	若干名
経済経営学部	経済経営学科	
法学部	法学科	
心理学部	心理学科	
現代生活学部	食物栄養学科	
	居住空間デザイン学科	
教育学部*	こども教育学科*	

※2019年4月設置

■ 前期スケジュール

出願期間	2018年9月18日(火)~10月1日(月)(消印有効)
試験日(面接)	2018年10月6日(土)
合格発表	2018年10月12日(金)
1次手続締切日(入学金納付)	2018年10月29日(月)

■ 後期スケジュール

出願期間	2018年11月19日(月)~12月12日(水)※(消印有効)
試験日(面接)	2018年12月15日(土)
合格発表	2018年12月19日(水)
1次手続締切日(入学金納付)	2019年1月11日(金)

※12月13日のみ願書窓口受付可

■ 3月スケジュール

出願期間	2019年2月25日(月)~3月8日(金)※(消印有効)
試験日(面接)	2019年3月13日(水)
合格発表	2019年3月14日(木)
入学手続締切日(入学金・前期授業料等納付)	2019年3月22日(金)

※3月9日・11日のみ願書窓口受付可

■ 入学金について

ファミリー入試でご入学される方は、入学金が6万円になります。

(通常 18万円)

OPEN CAMPUS 2018

奈良・東生駒キャンパス 全学部・学科対象

8/5(日)・26(日)・9/9(日)

11:00~16:30 13:00~16:30

8/5(日)クラブ・サークル紹介 8/5(日)・26(日)1・2年生向け特別講演 9/9(日)インターネット出願講座

学科体験授業や施設見学、入試説明、在学生との交流など、さまざまなイベントを用意しています。【予約不要】

奈良・学園前キャンパス 全学部・学科対象

8/18(土)・19(日) 11:00~16:30

8/18(土)1・2年生向け特別講演、面接対策講座 8/19(日)保護者向け特別講演

入試対策講座

(奈良・学園前キャンパス)

10/7(日) 12/23(日・祝)

公募制推薦入試対象 9:30~13:00 一般入試対象 10:00~12:30

【予約不要】